

み

ん

な

の

文

芸

## 短歌 全15首

西日本豪雨のあと、猛暑日本悼み憂いつつわれも暑に耐う  
豊富なる彩り野菜調理して酷暑に耐ふる我が身労る  
久々に友訪れてよもやまの話に心和める一と日  
投句無き我の安否を心する同窓の友先に逝くとわ  
裏口に採りたて野菜置かれしやまだ五時前と鳩も鳴きおり  
この暑さ諸共せずに高齢の夫は週二のグランドゴルフ  
こんびらへ七百八十五階段こんびら狗の気持ちで登る  
夏の夜に赤く輝く星一つ月に寄りそいロマンを語る  
炎天下付け替へくるガスボンベ労を犒ひ冷茶勧めぬ  
堪え難き西日本豪雨災害の悲惨映像涙に曇る  
夏入りて猛暑にまいる老いの身に逆走台風思い煩ふ  
鰻丼を楽しみに待つ人もなく一つ買おうか値を見て迷う  
アジサイの色とりどりに咲きほこるなか車椅子乗る人押す人  
ジリジリと照りつける日中草刈る赤銅色の腕は頼もし

## 榎本順江選 投稿数13句

(評)今年の夏の記録的な暑さ。体を守る対策も大変でした。寝不足も続き何とか眠れるようだ。木立の中の館から楽しい様子が見えて来ます。次回も元気で集えますように。三句目、朝いつもの時間に登校の子供達の列が通る。葭賣の内から透かして見える子供達を見守るやさしい作者。

米寿の友集う館や夏木立

皆野 根岸 詩子

茄子紺の色美しや今朝の菜

三沢 新井 民子

透かし見ゆ登校の列葭賣かな

国神 藤原マキ子

十八も咲いた山百合腰まがり

皆野 戸塚喜久雄

直会終え家路の衆へ夏の月

三沢 真下 杏子

落とし文またいで通る山のみち

下日野沢 新井 進

窓開けて風鈴の音の涼しさよ

皆野 村田ハツ代

山村の路灯明るき火星かな

上日野沢 四方田利男

桂浜地球は丸い夏の海

皆野小六年 太幡琉美花

炎熱の路行く汽車や絶叫す

下田野 新井 節子

### 俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して  
みらい創造課までお寄せください。  
**1人1句、1首に限りります。**

**3日必着**

## 1歳になる赤ちゃんを募集しています



ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までにみらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。

10月号の締め切り：9月10日(月)

問合せ みらい創造課 ☎26-7334

**かえで  
赤ちゃん**

大渕区  
井上 修介さん



よくあそび、よくたべ、よくね  
むって、おおきくなつてね

**たかほ  
貴穂くん**

下大浜区  
岩寄 正和さん



奈緒美さん  
お兄ちゃんが大好きな貴穂くん。  
仲良く元気に遊ぼうね!

**1歳のお誕生日おめでとう**